

漢法苞徳塾資料	No. 181
区分	資料・積聚
タイトル	素問の積聚論の一部
著者	八木素萌
作成日	

◎『素問』拳痛論第 39

……寒氣客於小腸膜原之間・絡血之中・血泣不得注於大經・血氣稽留・不得行・故宿昔而成積矣…

◎『素問』腹中論第 40

……帝曰・病有少腹盛・上下左右皆有根・此為何病・可治不・岐伯曰・病名伏梁・

帝曰・伏梁何因而得之・岐伯曰・裹大膿血・居腸胃之外・不可治・治之・每切按之致死・

帝曰・何以然・岐伯曰・此下則因陰必下膿血・血上則迫胃脘生鬲・俠胃脘内癰……

◎『素問』奇病論第 47

……帝曰・人有身体脾股骭皆腫・環齊而痛・是為何病・

岐伯曰・病名曰伏梁・此風根也・其氣溢於大腸而著於胃・胃之原・在齊下・故環齊而痛也……